

市民講座で
「防衛意識の普及高揚」を！

活動事例紹介

＜田口昭旌(陸)副支部長 編集＞

2012. 8

千葉県隊友会館山支部



地元紙 掲載記事(抜粋)

房日新聞

8月21日

平成24年(2012年)



THE BONICHI SHIMBUN

日刊 第17988号 (昭和27年8月23日 第3種郵便物認可) 【月曜休刊】

潮位 満潮 06時、干潮 00時



戦後処理と館山

ふるさと講座で市民らが学ぶ

館山市中央公民館の第4回のふるさと講座「旧軍の記録資料に見る館山の終戦処理」が18日、館山市コミュニティセンターで開催された。地域の53人が、終戦間もないから

催。講師は、館山地域史研究会会長の川村巖氏。川村氏は土浦出身で、防衛大卒業後、海上自衛隊、防衛省海上幕僚監部などで勤務。現在、隊友会館山支部長をつとめる。講座では、ポツダム宣言の受諾から連合国軍の受け入れと終戦処理の経過をわかりやすく解説。進駐軍は、9月3日に館

川村氏から戦後処理について学ぶ参加者ら＝館山市コミセンで

講座の経緯

- 館山市教委企画・社会教育の一環として中央公民館が毎年「ふるさと講座」を開催
- 平成19年度以降、川村支部長が講師依頼を受け、年1～2回講義を実施
- 毎回、80名以上の参加者が集る公民館の目玉講座として好評（今回はやや低調）

講義の趣旨・ねらい

□ 旧軍・戦争についての

「誤れる・偏った歴史認識」の横行・蔓延

⇒ 防衛・自衛隊に対する偏見

・間違った認識の醸成

⇒ 「防衛意識普及高揚」の阻害要因

□ 講義を通じた「正しい歴史認識」の普及

⇒ 隊友会事業活動のメインテーマ

「防衛意識の普及高揚」に貢献

講義の主眼・強調点

<題材選定>

- 南房総の旧陸海軍・戦争を題材に選定

<事実関係の調査>

- 旧軍の文書・記録資料等に基づく事実関係の調査・整理

<主眼点>

- 誤れる・偏った「歴史認識」の是正
⇒ 講義の主眼・強調点



今回のテーマ

旧軍記録資料に見る館山の終戦処理

占領軍の進駐から武装解除まで

<講義概要>

- 終戦と進駐軍の上陸
- 南房総の陸海軍部隊の武装解除
- 終戦に伴う事件、不祥事案とその真偽
- その他

2012.8.18

公益社団法人隊友会 館山支部

No.6

防衛意識の普及高揚策

- 「市民講座」がすべてに非ず！

＜実践例＞

- 団体、NPO、地域会合等での講話
- 地元紙、会報等への投稿
- ネット・サイトの活用（千葉県隊友会HP等）
- 小冊子の刊行（近い将来） その他

<追記> 支部長所見

- 軍の文書・記録 ⇒ 説得力大
- 自称「平和団体・戦争研究家」任せは危険
- 千葉県各地にも多くの題材が存在
- 自衛隊OBとしての知見・ノウハウ発揮
の絶好の場・機会
- 同時に「OBが手がける自衛隊広報」
として自衛隊協力に寄与

END